



高齢者・障害者等に配慮した建築物

市街地でいきいき生活できる
身体障害者更生援護施設

ディアフレンズ^{みはま}美浜

建築主：社会福祉法人 春陽会
設計：(株)榎本建築設計事務所
施工：矢作建設工業株式会社東京支店

所在地：千葉市美浜区磯辺2-21-1



木質で仕上げた安らぎの広場

ディアフレンズ美浜は、稲毛海浜公園や住宅団地、学校などにほど近い街なか平成13年4月に開設された福祉施設である。障害のある子供の将来を案じてその進路の開拓に向け様々な活動を続けている「千葉市肢体不自由児者父母の会」が設立母体となった。「親亡き後も安心して障害者の生活を託せる施設を」との願いから発想され、地域にしっかりと根つきそうな簡素だが凛とした気品を漂わせる魅力的な建築である。

ウッドデッキと緑の中庭を囲むように、1階には食堂やデイルームが配置され、2階には居室が配置されている。また、通りに面したところには地域で働きながら生活する障害者のための福祉ホームが配置されている。さらに、1000人規模の集会までできる大きな地域交流スペースも備えている。

建築デザインとしては、内外装ともに木の素材を巧みに使い、外に対しては柔らかな表情をみせつつも、毅然とした存在感を与え、内部には、ごく普通の生活をするのにふさわしい家庭的な雰囲気を醸し出している。

何か特別なことをしようという発想ではなく、障害があってもごく普通の存在として、ごく普通に生活できる環境をととのえようという強い意志のもとに生まれた、まさにやさしい空間である。



正面玄関アプローチ (撮影 澤田勝良)

明るいデイルーム



ここを拠点に地域の人々が集い、また、ここから多くの人々が地域に帰っていくことがごく自然に期待できる空間が創造されたことを高く評価したい。こうした空間が、地域にごくあたり前に存在する時代が到来したとするならば、喜ばしいかぎりである。 (園田眞理子)